

表-1 「支部会報」の発刊履歴

| 支部長/卒年・学科 | 発刊した支部会報 |
|----------------|--|
| 鹿島興太郎/昭和20年・国漢 | 昭和63(1988)年～ 埼玉県支部会報(創刊号～第10号) |
| 高松清實/昭和37年・経済 | 平成15(2003)年 同上(第11号) |
| 朝川仁/昭和46年・院修社会 | 平成16(2004)年～ 埼玉県東部支部「彩の国さいたま」(創刊号～第5号) |
| 清宮邦雄/昭和41年・国文 | 平成22(2009)年～ 同上(第6号～第12号) |
| 中里繁夫/昭和50年・土木 | 平成29(2017)年～ 同上(第13号～第18号) |



図-2 支部会報「彩の国さいたま」(第18号、令和4年5月発行)のタイトル画像

「ブローグ」

寄稿 支部会報「彩の国さいたま」のクリエイターとして！
副支部長 黒井登起雄 (昭和46年院修土木)

東洋大学校友会埼玉県東部支部会報「リーフレット版」

この「彩の国さいたま」(リーフレット電子版)は、校友会埼玉県東部支部の最新の活動状況、企画案内、会員の動向などの情報を、支部会員の皆様に年数回、不定期でお届けするものです。速報内容は、支部役員および会員の皆様から頂戴した情報を写真とともにまとめています。なお、リーフレット版は、画像電子版として作成していますので、東洋大学校友会HPの支部ブログにも掲載することを基本にしています。支部のFacebook登録会員の皆様にも配信します。奮ってお読みいただきたく存じます。

支部広報担当(副支部長) 黒井登起雄

校友会の埼玉県東部支部会報「彩の国さいたま」は、表-1に示すように、平成16(04)年の埼玉県支部の東西部分割後に創刊し(初代支部長の故朝川仁氏のもと)、令和4年5月の発行(図3参照)で、第18号を数えます。私は、平成22(09)年の第6号(第2代の清宮邦雄前支部長、現相談役)から第13号(第3代の中里繁夫支部長)以降第18号(令和4年発行)までの13年の間(図4参照)、支部会報の編集と印刷の作業を継続担当してまいりました。令和2(20)年8月からは、「彩の国さいたま(リーフレット電子版)」も創刊し、



図-3 支部会報「彩の国さいたま」創刊号



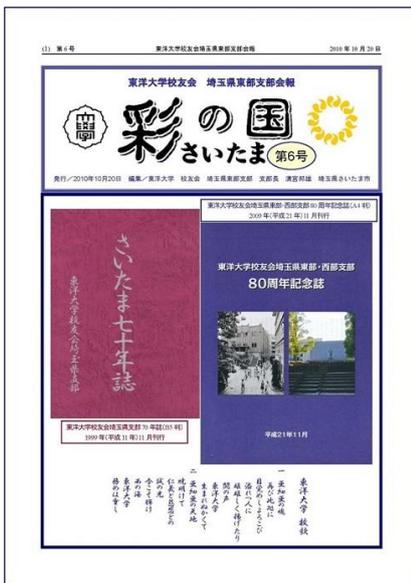
図-1 支部会報『彩の国さいたま』の原稿募集案内「構成と割付」

現在も継続的に発行しています(支部ブログに第15号まで掲載)。2000年前後のマイクロソフト(Microsoft)のOS(97、プレミアム、2000、7、現在のOS、10、11)の進化およびデジタルカメラ写真の解像度の向上は、著しく、支部会報「彩の国さいたま」の写真の多用と支部会報のカラー化にも、容易に対応できました(初代支部長からのご要望)。支部会報の編集には、最初、マイクロソフトのPublisherが適当と考えていましたが、最終的に、作業操作が容易になってきたWordの文章作成ソフトを活用しました。

【支部会報の印刷原稿作成(入力と編集)】

支部会報「彩の国さいたま」は、図-1の「原稿募集案内(支部会報の構成と割付)」に示す「原稿提出期限」「編集・印刷・製本仕上がり等の日程」「納品日程」を支部役員および会員の皆様にお知らせし、原稿の募集を行っています。会報の書式は、文章作成ソフト(Word)の印刷(用紙)の向きをA4判「縦」の三段組縦書きに設定し、「ページ」「発行号数」「(一社)東洋大学校友会埼玉県東部支部会報」「発行年月日」

- 1) 「彩の国さいたま」のタイトル(図-2参照)は、画像データ(図形、デジタル写真など)をプレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて作成・編集した画像をWord文書に貼り付けて編集(文字列「前面」の折り返しで編集)しています。
 - 2) その他の表題画像(「支部長報告」「本部署会の概況」「支部活動の報告」「ブログの掲載情報」などの表題)も、同様に、PowerPointソフトで図形・画像を加工・編集して作成しています(図として保存した「JPEG」画像)。
 - 3) 会報の基本的な文章は、段落「両端揃え」で作成し、適宜「テキストボックス」「図形(メモ、スクロール、四角形など)」内への入力(縦書き、横書き)、貼り付けなども活用しています。
 - 4) 写真などの画像データや 図形などは、「テキストボックス」(枠線を白色に設定)内に貼り付け、文字列の折り返しを「四角形」に設定・編集して作成します。これらにより、文字列を折り返す(画像などの自由移動が可能になる)とともに、図表、写真のチャプター(表題)の文字フォントのサイズを同一にすることが出来ます。
 - 5) 一般の「図形」などの枠線の色は、適宜、スクールカラーも採用し、東洋大学の鉄紺色(R23、G24、B75)の設定をしています。この電子版も同様です。
- 【支部会報の印刷・製本・納品】
- 12ページに編集した支部会報の印刷原稿(Word文書)は、PDF文書(ADOBE



第6号 (2010年)



第8号 (2012年)



第9号 (2013年)



第10号 (2014年)

図-4 既往発行の支部会報「彩の国さいたま」の一例 (第6~18号、編集担当：黒井)



図-5 支部会報「彩の国さいたま」(リーフレット電子版) 第12号 (2020.1.7)

*1 『支部会報』の発行の目的とその歴史、「彩の国さいたま」(リーフレット電子版) 第12号 (支部ブログ 2022.1.7 掲載)

ACROBAT など) に変換して 完成させています。支部会報「彩の国さいたま」の印刷・製本仕上げは、印刷会社(本社都内大田区)の熊谷営業所の担当者とメールで打ち合わせた(印刷作業日程、印刷確認、見積確認、納品日程、納品方法など)のち、PDF(送信原稿)文書の添付送信で行っています。刷り上がりの印刷確認(カラーの色合いなど)は、一回としました(営業所において確認)。なお、印刷原稿の校正は、印刷作業日程の初期段階に、印刷原稿

(PDF)のページ差し替えのメール送受信で対応しています。1200部(第18号)の仕上がり支部会報の納品は、校友会本部事務局(浦水会館)への印刷会社の持ち込み契約としました(支部会報の私の手元への予備…50〜100部)。支部会報の「納品書&請求書」は、印刷会社営業所で、直接受け取り、PDFに読み込んだ文書を支部の会計担当者にメール送信しています。

IT時代における『支部会報』については、支部リーフレット第12号(図5参照) *1 に記述しましたように、『支部会報』が会員の皆様に一年間の東洋大学の動向や同校友会の支部活動などを届ける機関紙ですので、情報交換に時間がかかります。IT時代における会員への支部活動の情報発信は、「即時性」「即応性」が重要になります。当支部では、令和2(20)年8月に、年間4〜5回発行で、二頁構成の「彩の国さいたま」(リーフレット電子版)の編集を始めました。これらは、校友会HPの「支部ブログ」を活用して直ぐに配信され、会員の皆様が閲覧できます(支部ブログにPDF

文書でリンク掲載)。将来的には、卒業生が閲覧できる校友会HPとともに、添付の(リーフレット電子版など)PDF文書の会員限定閲覧(登録IDとパスワード)の組み込み設定の構築によって、『支部会報』の電子化配信が可能と考えています。すなわち、校友会HPに添付したPDF文書は、卒業生の正会員(校友会費納入者)に限定して閲覧できる仕組みです。登録IDは、卒業生登録番号、登録メールアドレスなどが考えられます。パスワードは、校友会事務局から閲覧希望の登録会員(正会員)に毎年配信することになるかと思いますが(終身会費納入の正会員には、パスワードの数年配信でもと思いますが!)。【エピソード】

最近のITによる情報ツールを活用した多様な「伝達交換システム」(Facebookやそのグループなど)も、若い校友の皆様が中心になって構築されることを望んでいます。また、小ブランチの構築伝達も!